



2023年6月20日

各 位

会社名 トナミホールディングス株式会社  
代表者名 代表取締役社長 高田 和夫  
(コード番号 9070 東証プライム市場)  
お問合せ先 執行役員財務部長 齋藤英三郎  
(TEL 0766 -32 -1073)

(訂正)「2023年3月期 決算短信〔日本基準〕(連結)」の一部訂正について

2023年5月12日に公表いたしました「2023年3月期 決算短信〔日本基準〕(連結)」の記載内容に一部訂正がございましたので、下記のとおりお知らせいたします。

なお、財務諸表数値データ(XBRLデータ)については、訂正はありません。

記

1. 訂正理由

「2023年3月期 決算短信〔日本基準〕(連結)」公表後、セグメント情報中の「セグメント資産」において、各セグメントに配分すべき金額を全社資産に含めて集計していた事が判明したため、訂正を行うものであります。

2. 訂正の内容(訂正箇所には下線を付しております。)

○添付資料18ページ

3. 連結財務諸表及び主な注記

(5) 連結財務諸表に関する注記事項  
(セグメント情報等)

3 報告セグメントごとの営業収益、利益又は損失、資産、その他の項目の金額に関する情報

## 【訂正前】

当連結会計年度(自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)

(単位：百万円)

	報告セグメント			
	物流関連事業	情報処理事業	販売事業	計
営業収益				
外部顧客に対する営業収益	133,545	3,198	3,145	139,889
セグメント間の内部 営業収益又は振替高	62	372	314	749
計	133,607	3,570	3,460	140,639
セグメント利益	6,483	517	286	7,287
セグメント資産	<u>124,597</u>	<u>2,858</u>	<u>12,174</u>	<u>139,629</u>
その他の項目				
減価償却費	4,573	289	38	4,900
のれんの償却	34	—	—	34
特別利益	—	—	—	—
(負ののれん発生益)	(—)	(—)	(—)	(—)
特別損失	51	—	—	51
(減損損失)	(51)	(—)	(—)	(51)
(のれん減損損失)	(—)	(—)	(—)	(—)
有形固定資産及び 無形固定資産の増加額	4,742	259	17	5,019

(単位：百万円)

	その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	連結財務諸表 計上額 (注) 3
営業収益				
外部顧客に対する営業収益	2,030	141,920	—	141,920
セグメント間の内部 営業収益又は振替高	77	826	△826	—
計	2,107	142,747	△826	141,920
セグメント利益	294	7,581	△200	7,381
セグメント資産	13,713	<u>153,343</u>	<u>9,167</u>	162,511
その他の項目				
減価償却費	85	4,986	8	4,994
のれんの償却	—	34	—	34
特別利益	—	—	—	—
(負ののれん発生益)	(—)	(—)	(—)	(—)
特別損失	—	51	—	51
(減損損失)	(—)	(51)	(—)	(51)
(のれん減損損失)	(—)	(—)	(—)	(—)
有形固定資産及び 無形固定資産の増加額	32	5,052	△5	5,047

(注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、自動車修理業やその他事業を含んでおります。

2 調整額は、以下のとおりであります。

(1) セグメント利益の調整額△200百万円にはセグメント間消去790百万円と各報告セグメントに配分していない全社費用△991百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない連結財務諸表提出会社の費用です。

(2) セグメント資産の調整額9,167百万円には、セグメント間の資産の相殺消去△40,229百万円、各報告セグメントに配分していない全社資産49,397百万円が含まれております。全社資産は主に報告セグメントに帰属しない本社の現金・預金及び投資有価証券です。

(3) 有形固定資産及び無形固定資産の増加額の調整額△5百万円には、セグメント間取引消去△31百万円と各報告セグメントに配分していない全社資産25百万円です。

3 セグメント利益は、連結財務諸表の営業利益と調整を行っております。

【訂正後】

当連結会計年度(自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)

(単位：百万円)

	報告セグメント			
	物流関連事業	情報処理事業	販売事業	計
営業収益				
外部顧客に対する営業収益	133,545	3,198	3,145	139,889
セグメント間の内部 営業収益又は振替高	62	372	314	749
計	133,607	3,570	3,460	140,639
セグメント利益	6,483	517	286	7,287
セグメント資産	<u>124,542</u>	<u>2,776</u>	<u>10,027</u>	<u>137,346</u>
その他の項目				
減価償却費	4,573	289	38	4,900
のれんの償却	34	—	—	34
特別利益	—	—	—	—
(負ののれん発生益)	(—)	(—)	(—)	(—)
特別損失	51	—	—	51
(減損損失)	(51)	(—)	(—)	(51)
(のれん減損損失)	(—)	(—)	(—)	(—)
有形固定資産及び 無形固定資産の増加額	4,742	259	17	5,019

(単位：百万円)

	その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	連結財務諸表 計上額 (注) 3
営業収益				
外部顧客に対する営業収益	2,030	141,920	—	141,920
セグメント間の内部 営業収益又は振替高	77	826	△826	—
計	2,107	142,747	△826	141,920
セグメント利益	294	7,581	△200	7,381
セグメント資産	13,713	<u>151,060</u>	<u>11,451</u>	162,511
その他の項目				
減価償却費	85	4,986	8	4,994
のれんの償却	—	34	—	34
特別利益	—	—	—	—
(負ののれん発生益)	(—)	(—)	(—)	(—)
特別損失	—	51	—	51
(減損損失)	(—)	(51)	(—)	(51)
(のれん減損損失)	(—)	(—)	(—)	(—)
有形固定資産及び 無形固定資産の増加額	32	5,052	△5	5,047

(注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、自動車修理業やその他事業を含んでおります。

2 調整額は、以下のとおりであります。

(1)セグメント利益の調整額△200百万円にはセグメント間消去790百万円と各報告セグメントに配分していない全社費用△991百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない連結財務諸表提出会社の費用です。

(2)セグメント資産の調整額11,451百万円には、セグメント間の資産の相殺消去△40,229百万円、各報告セグメントに配分していない全社資産51,680百万円が含まれております。全社資産は主に報告セグメントに帰属しない本社の現金・預金及び投資有価証券です。

(3)有形固定資産及び無形固定資産の増加額の調整額△5百万円には、セグメント間取引消去△31百万円と各報告セグメントに配分していない全社資産25百万円です。

3 セグメント利益は、連結財務諸表の営業利益と調整を行っております。